

Ⅱ-2 子どもの人権問題

1 目的

児童憲章前文では、児童は人として尊ばれること、社会の一員として重んぜられること、よい環境の中で育てられることが記されています。しかしながら、いじめや虐待、体罰など子どもの人権を侵害する事件が発生しています。

ここでは、子どもの人権問題としていじめ問題について考えます。語り合いを通していじめ問題の解決に向けて、学校と協力して地域や家庭でできることを考えましょう。

2 進め方（ワークシート活用例）

ワーク	進め方とファシリテーターの視点
I	<p>1 イラストを見て、参加者の率直な意見を聞いてみましょう。</p> <p>2 それぞれの子どもの気持ちについて考えてみましょう。</p> <p>★視点1 いじめ問題を考えるとき、いじめられている子どもに責任はありません。いじている子どもも、いついじめを受ける側になるかわかりません。いじめは、軽微なことがきっかけとなってエスカレートし、深刻化します。また、大人や先生が見てないところでほとんどのいじめが発生しています。そこで、イラストのような状況をささいなこととして見逃さず、それぞれの子どもの気持ちを考えます。</p> <p>3 資料①、②を参考にして、地域で子どもに関心を持つことの大切さを考えてみましょう。</p> <p>★視点2 地域でのいじめ発見が少なく(資料①)、いじめの相談について地域では相談されていない(資料②)という事実を踏まえて、地域で子どもを見守ることができているか話しています。登下校時の見守り活動などを行っている地域は、その経験も出します。</p>
II	<p>・資料③を参考にして、地域での子どもの様子について出し合ってみましょう。その中で気になる様子などがあれば話し合ってみましょう。</p> <p>★視点3 資料③は、地域で子どもを見守る場合のチェック項目として使うことができます。</p>
III	<p>・地域や家庭で子どもをいじめから守り、健全に育てるためにできることを話し合しましょう。</p> <p>★視点4 子どもが地域行事(祭りや運動会など)にどのように参加しているかを出し合います。また、スポーツ少年団などの取組がある場合、指導者にもいじめについて理解を深めてもらうよう働きかけます。</p> <p>★視点5 子どもの様子について各家庭で気をつけていることを出し合います。いじめは、学校だけではなくケータイやスマホ(スマートフォン)を通じて行われていることもあります。子どもがケータイなどでどのようなサイトにアクセスし、どんなやりとりをしているのか話を聞くことも大切です。</p> <p>★視点6 いじめや虐待、体罰などが疑われる場合は、学校や行政に相談・連絡するように伝えます。また、子育ての中で保護者も悩んでいると感じた場合は、相談窓口を紹介します。</p>

3 資料「ストップいじめアクションプラン」(滋賀県教育委員会)より

★保護者のアクション

- ①自分の子どもの声をじっくり聴く!!
- ②自分の子を見守り、理解し、支える!!
- ③いいことはいい、ダメなことはダメとしっかり伝える!!
- ④子どもが生活の主体者になれる場を見つけ、体験をさせる!!
- ⑤規則正しい生活習慣づくりに努める!!
- ⑥学校と一緒に動き、協力して解決にあたる!!
- ⑦地域で子育てを支えあう、PTA活動を促進する!!

★地域のアクション

- ①地域における子どもを支えるコミュニティを形成し、多くの目で子どもを見守る!!
- ②地域の中で子ども達の居場所・活動機会づくりを行い、地域行事に子どもを参加させる!!
- ③子どもが大切にされ、子どもを支えることができる地域づくりを進める!!
- ④学校との緊密な連携を図る!!

4 より深く学ぶために（資料）

「ストップいじめアクションプラン」平成25年10月改訂（滋賀県教育委員会）

「生徒指導 leaf」VOL4,7,8,9,10,11（文部科学省）<http://www.nier.go.jp/shido/leaf>